

効果の上がる社会の勉強方法とは

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 「開倫塾の時間」では、効果の上がる勉強の仕方をずっとお話しております。そこで今日は、社会の勉強の仕方について少しお話をさせていただきます。中学生の社会には、地理、歴史、公民という科目があります。高校生の社会には、現代社会、地理、世界史、日本史、倫理、政治・経済の科目があります。昔は倫理社会という科目があって必修でしたが、今は必修から外れたようです。地理は、中学生では日本地理を、高校生では世界地理を中心に学びます。歴史は、中学生は主に日本の歴史を、高校生は世界の歴史と日本の歴史とに分けて学びます。中学3年生で学ぶ公民は、高校1年生での現代社会と高校3年生での政治・経済に分かれます。倫理は、世界の思想家のいろいろな考え方、哲学の歴史のようなものを学ぶ授業になります。これらが社会の学習内容です。
3. では、社会はどどのように勉強したらよいのでしょうか。他の科目と比べ、暗記をしなくてはならないとよく言われます。ただ、最後は暗記をしたほうがよいでしょうが、最初はよく理解するのがいいと私は思います。例えば、中学3年生の公民や高校1年生の現代社会、高校3年生の政治・経済では、最初に民主政治と日本国憲法について必ず勉強します。そこに出てくる民主政治、民主主義、日本国憲法などのことばを暗記することも大事ですが、その手前で、民主政治とは何か、何をもって民主政治というのか、私たちの生活と政治にはどんな関連があるのか、民主政治という考えはどのように出てきたのかなどをゆっくりゆっくり考えていくことが大事です。
4. 最終的に覚えるべきことが出てきたら、よく理解したことについて覚える、つまり暗記をすることが大事です。例えば、「1789年にフランスで人権宣言が発表された」ことを覚える際には、その13年前に宣言されたアメリカの独立宣言との間にどんな関係があるのかを理解してからにすると、非常におもしろいと思います。アメリカの独立宣言を勉強するときには、そこにどんなことが書いてあるのか・なぜそれがアメリカで宣言されたのか・リンカーンはどのようなことを行ったのかなどについて調べると、アメリカのことも人権のこともわかるようになります。また、フランスの人権宣言にはジャンジャク・ルソーの考え方がかなり色濃く反映されています。そこで、ルソーはどんな考え方を持っていたのかを知るために、ルソーが著した有名な「社会契約論」や「人間不平等起源論」を読んでみようとするのもおもしろいですね。フランスでは、人権宣言が出された後にナポレオンが権力を握り、ヨーロッパのほとんどを征服しました。せっかく人々が立ち上がって革命を起こしたのに、なぜまたナポレオンが皇帝の座に就いてしまったのか。ナポレオンの政治は、前

の時代の政治とどこが違うのか。ナポレオンは戦争をしてどのようにプロシア(のちのドイツ)に負けたのか。このようなことを勉強するのも非常におもしろいと思います。

5. そのあとのドイツはいろいろなことを行いました。また、第一次世界大戦に参戦し、ヒトラーが政権を握ったときには第二次世界大戦を起こしました。このような歴史が繰り返されることはないと思いますが、いろいろな国で様々なことが起こります。その度やとか背景などを理解し、それから一つ一つの出来事の年号やそれに関係する人物名・地名などを覚えていくと素晴らしい理解になります。最終的には、歴史的な出来事や人物については年号・地名・人名などをきちんと覚えることが大切です。ただ、その手前でそれぞれの事情や背景などをよく理解する。このようにしていくと、社会は非常におもしろくなってくると思います。最初からことばを何が何でも覚えようと思って勉強するとおもしろくなくなってしまうこともありますので、まずはなぜなぜなぜと考えていきましょう。なぜこのようなことが起こったのか・なぜここでこんなことがあったのか・この人物はなぜこんなことをしたのかと考えながら勉強を進めるとよいと思います。

6. 地理も同じです。栃木県はどんなところか・栃木県と各市町にはどんな歴史や文化があるのか・どのような場所や地名があるのかとかなどを確かめながらよく理解し、そして覚えていくことが大事です。法律についても同様で、大切な一つ一つの条文の意味を理解した上で、暗記をする、これが一番大事な勉強の仕方だと思います。

7. 今日は、社会の勉強の仕方についてお話をさせていただきました。毎日の勉強の中に取り入れていただければと思います。